Global Partner/Net VA

グローバルパートナー/Net VA

＊Global Partnerおよび Net VA は、弊社変額個人年金保険の販売名称です。

特別勘定の四半期運用レポート

2020年7～9月度

＜目次＞

1. 特別勘定の種類 1 ページ
2. 運用環境の主な状況 2 ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況 3 ページ
4. ［参考情報］投資信託の運用実績・状況 4-10 ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用 11-12 ページ

［引受保険会社］

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-778-133

月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

（日・祝日および12月31日～1月3日を除く）

https://www.axa.co.jp/

■ 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。

■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。
そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクや費用については本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）（＊）」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

＊ 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

特別勘定の種類

特別勘定名	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社	投資信託の運用方針
ライフ・ソリューション30	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型（B）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
ライフ・ソリューション50	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型（B）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
ライフ・ソリューション70	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型（B）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
日本株式	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。
世界株式	アクサ IM・グローバル（日本含む）株式ファンド（為替ヘッジつき）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の証券取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。実質的な外貨建組入資産については、原則として為替ヘッジを行います。
世界債券	アライアンス・バーンスタイン グローバル・ボンドⅡ・ポートフォリオ（クラスS1受益証券）	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
マネープール	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

※特別勘定の種類、運用方針、信託報酬等、および運用協力会社は、将来変更される可能性があります。
※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。
※「マネープール」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「マネープール」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

運用環境の主な状況

（2020年9月末現在）

■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は上昇し、前期末比＋4.28%の1,625.49ポイントで終えました。今四半期前半は、新型コロナウイルスの感染拡大や低調な企業決算、円高米ドル安などを背景に下落しましたが、８月に入るとISM（米供給管理協会）製造業景況指数や米雇用統計などの米経済指標が良好な結果であったことや、円高米ドル安の一服が好感されたことなどを受けて株価は上昇しました。期後半は、東京の新型コロナウイルス感染状況の警戒レベルが1段階引き下げられ経済正常化への期待が高まったことなどを背景に上昇しましたが、期末にかけては米大統領候補討論会で、増税などを掲げるバイデン前副大統領が優勢だったとの評価が拡がったことなどを受けて上げ幅を縮小しました。

日本の小型株式市場は概ね上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前期末比＋7.63%の27,781.70ドルで終えました。今四半期前半は、ISM製造業景況指数や米雇用統計などの米経済指標が良好な結果であったことや、米景気支援策や新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待感などを背景に上昇しました。期後半に入っても上昇しましたが、その後は大型ハイテク株を中心に売りが広がったことなどを受けて下落しました。期を通しては、米国株式市場は上昇しました。

欧州株式市場は、前期末比、独DAX指数＋3.65%、仏CAC40指数－2.69%となりました。今四半期前半は、米国株高や中国株高が好感されたことなどを受けて上昇して始まりましたが、その後は景気の先行きや米中対立激化への懸念、一部企業の低調な決算などを背景に下落しました。期後半は、経済活動正常化への期待感やドイツ・フランスの景気支援策の拡充などを背景に上昇しましたが、その後は欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて下がりました。期を通しては、独DAX指数は上昇し、仏CAC40指数は下落しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場も上昇しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は低下（価格は上昇）し、期末には0.016%となりました（前期末0.028%）。今四半期前半は、順調な10年国債入札結果や国内外での新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などを受けて金利は低下しましたが、８月に入ると米国金利の上昇などを背景に金利は上昇（価格は下落）に転じました。期後半は、日本の４～６月期のGDP（国内総生産）が戦後最大の落ち込みを記録したことや国債需給を巡る懸念が一旦後退したとの見方などを背景に金利は低下しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、期末には0.684%となりました（前期末0.656%）。今四半期前半は、米国における新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に金利は低下（価格は上昇）しましたが、８月に入ると米消費者物価指数が予想を上回る伸びであったことなどを背景に金利は上昇に転じました。期後半は、FRB（連邦準備制度理事会）高官が追加金融緩和の可能性を示唆したことや米追加経済対策の不透明感などを背景に金利は低下基調で推移しました。期を通しては、米国債券市場の金利は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は低下し、期末には－0.522%となりました（前期末－0.454%）。今四半期前半は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動制限の緩和延期などを受けて金利は低下して始まりましたが、８月に入ると新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待感などを背景に金利は上昇しました。期後半は、大型ハイテク株を中心に売りが広がったことや欧州での新型コロナウイルス感染再拡大などを受けて金利は低下基調で推移しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、期末には前期末比－1.94円の105.80円となりました。今四半期前半は、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に円高米ドル安基調で推移しましたが、８月に入ると米国金利の上昇などを背景に円安米ドル高に転じました。期後半はFRBの金融緩和の長期化観測や米追加経済対策の協議膠着などを背景に円高米ドル安基調で推移しました。

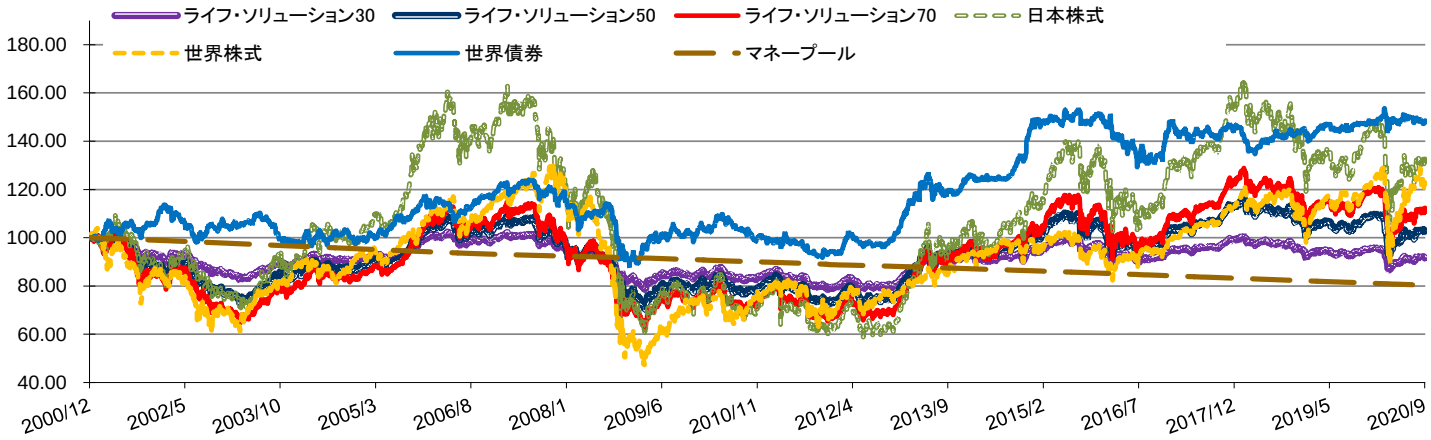
ユーロ/円相場は、円安ユーロ高となり、期末には前期末比＋3.09円の124.17円となりました。今四半期前半は、EU（欧州連合）復興基金の創設が合意されたことやユーロ圏の景気指標の改善などを背景に円安ユーロ高で推移しました。期後半は、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大などを受けて円高ユーロ安基調で推移しました。期を通しては、ユーロ/円相場は円安ユーロ高となりました。

特別勘定の運用実績・状況

(2020年9月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定名	ユニット・プライス 2020年9月末	騰落率(%) 1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ライフ・ソリューション30	91.83	△ 0.15	0.84	3.14	△ 2.26	△ 5.68	△ 8.16
ライフ・ソリューション50	102.86	△ 0.20	1.74	5.92	△ 2.75	△ 5.86	2.86
ライフ・ソリューション70	111.06	△ 0.30	2.55	8.95	△ 2.75	△ 5.63	11.06
日本株式	131.88	0.13	2.68	11.66	△ 1.36	△ 8.79	31.88
世界株式	122.32	△ 3.72	5.51	21.16	4.97	12.22	22.33
世界債券	148.59	0.83	△ 1.28	△ 0.22	0.66	2.47	48.60
マネープール	80.31	△ 0.11	△ 0.33	△ 0.58	△ 1.32	△ 3.71	△ 19.69

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、2000年12月18日の値を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。
※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページおよびインターネット対応の携帯電話(https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp)にて各営業日にご確認いただけます。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

	ライフ・ソリューション30		ライフ・ソリューション50		ライフ・ソリューション70		日本株式	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	55,842	4.5	157,286	4.1	122,432	4.5	122,073	4.7
その他有価証券	1,186,233	95.5	3,678,099	95.9	2,589,128	95.5	2,457,249	95.3
合計	1,242,075	100.0	3,835,386	100.0	2,711,561	100.0	2,579,322	100.0

	世界株式		世界債券		マネープール	
	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	89,387	4.5	88,296	4.9	18,996	7.9
その他有価証券	1,913,145	95.5	1,711,421	95.1	222,956	92.1
合計	2,002,532	100.0	1,799,717	100.0	241,952	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ライフ・ソリューション30

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B)〈適格機関投資家私募〉
アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

12 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

合成ベンチマーク

■東証株価指数(TOPIX)　…24.00%
■S&P500種株価指数
(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース)　… 3.00%
■MSCI欧州株価指数
(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース)　… 3.00%
■ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス　…30.00%
■日本円無担保コールオーバーナイト物レート
により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの　…40.00%

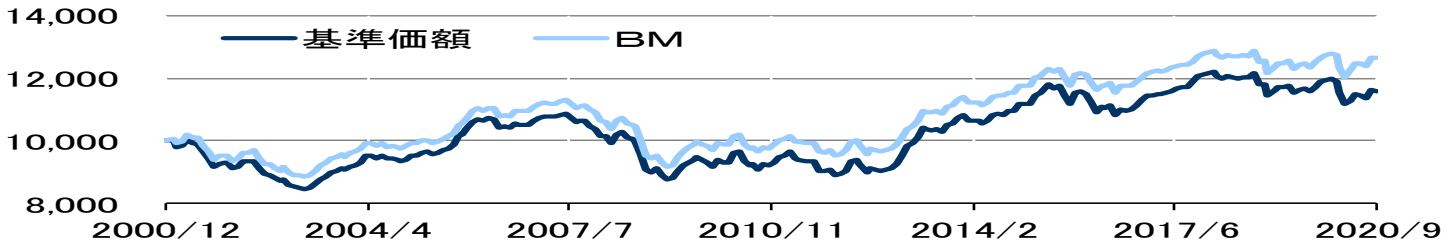
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

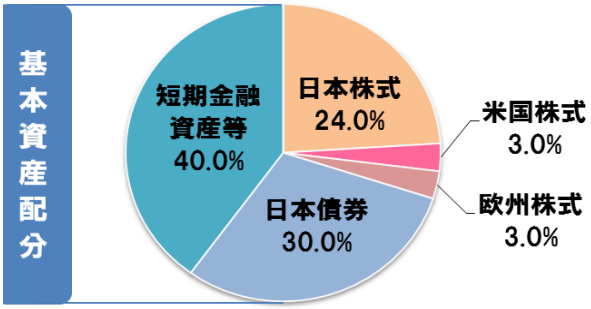
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.06	1.19	3.93	△ 1.11	△ 2.27	15.99
BM	△ 0.01	1.36	4.98	0.89	0.80	26.33
差異	△ 0.05	△ 0.17	△ 1.04	△ 2.00	△ 3.07	△ 10.34

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)





■ 資産配分比率(%)

日本株式	26.09
米国株式	3.14
欧州株式	3.07
日本債券	33.69
短期金融資産等	34.01

※「資産配分比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

ライフ・ソリューション50

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

37 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

合成ベンチマーク

■東証株価指数(TOPIX)	…40.00%
■S&P500種株価指数 (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース)	… 5.00%
■MSCI欧州株価指数 (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース)	… 5.00%
■ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス	…25.00%
■日本円無担保コールオーバーナイト物レート により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	…25.00%

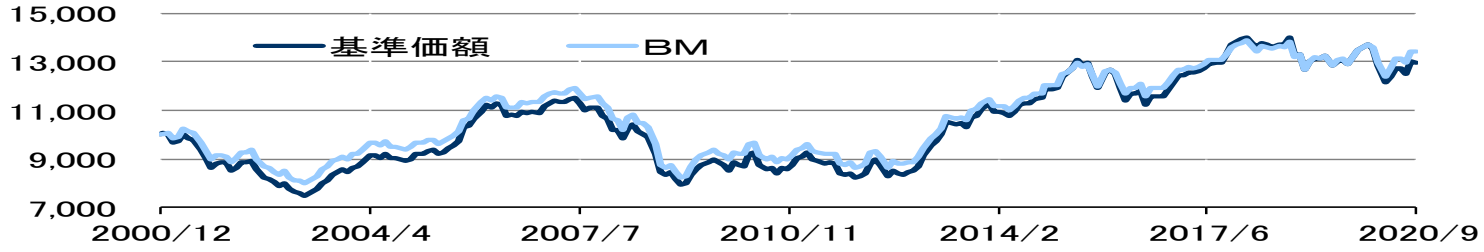
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

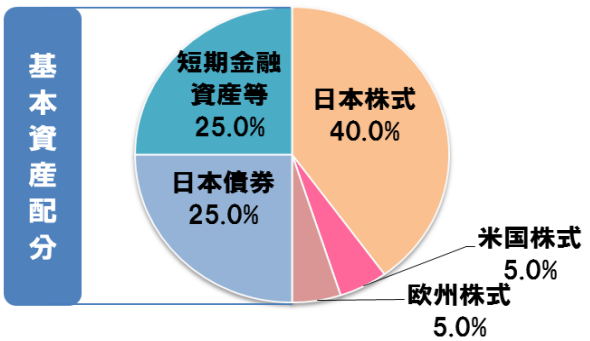
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.11	2.14	6.86	△ 1.67	△ 2.54	29.86
BM	△ 0.06	2.25	8.37	1.60	1.01	34.33
差異	△ 0.05	△ 0.11	△ 1.51	△ 3.27	△ 3.55	△ 4.47

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)





■ 資産配分比率(%)

日本株式	43.48
米国株式	5.39
欧州株式	5.27
日本債券	27.68
短期金融資産等	18.18

※「資産配分比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

ライフ・ソリューション70

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

26 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

合成ベンチマーク

■東証株価指数(TOPIX)	…55.00%
■S&P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）	… 7.50%
■MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）	… 7.50%
■ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス	…17.50%
■日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	…12.50%

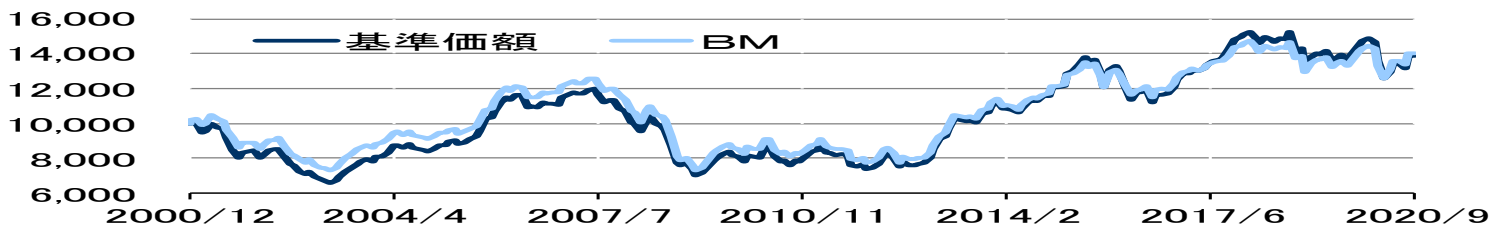
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

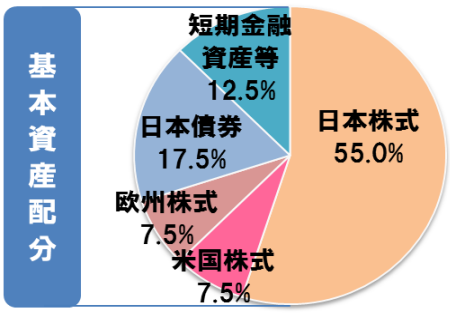
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.20	3.01	10.09	△ 1.68	△ 2.42	38.57
BM	△ 0.16	3.13	11.85	2.18	1.04	40.21
差異	△ 0.04	△ 0.12	△ 1.76	△ 3.87	△ 3.46	△ 1.64

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)





■ 資産配分比率(%)

日本株式	58.74
米国株式	7.59
欧州株式	7.88
日本債券	20.96
短期金融資産等	4.83

※「資産配分比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

日本株式

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(Ｂ)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

■ 純資産総額

93 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)

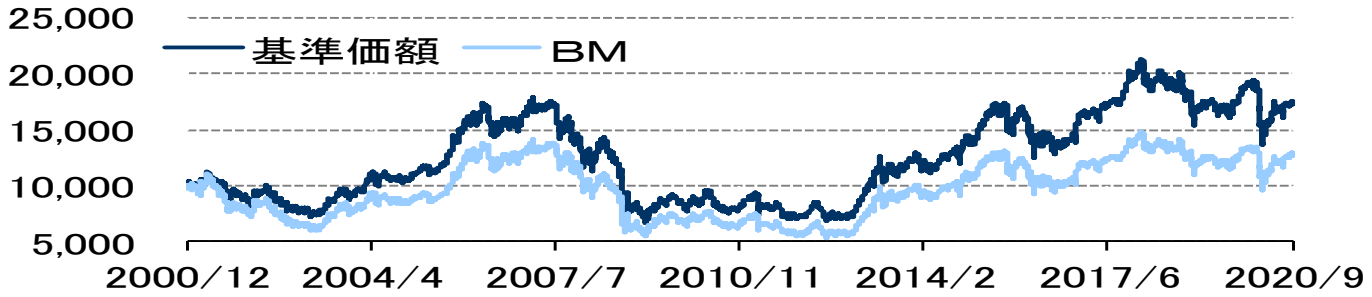
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.24	3.12	12.95	△ 0.28	△ 5.88	73.30
BM	0.45	4.28	15.85	2.37	△ 2.94	26.07
差異	△ 0.21	△ 1.16	△ 2.90	△ 2.65	△ 2.94	47.23

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：205

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	2.67
2	NTTドコモ	情報・通信業	2.51
3	任天堂	その他製品	2.49
4	ソニー	電気機器	2.45
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.24
6	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.21
7	伊藤忠商事	卸売業	1.85
8	本田技研工業	輸送用機器	1.80
9	日本電信電話	情報・通信業	1.80
10	KDDI	情報・通信業	1.74

■ 株式組入上位5業種(%)

1	電気機器	16.14
2	情報・通信業	13.95
3	医薬品	10.78
4	小売業	7.03
5	化学	6.07

■ 市場別構成比率(%)

東京証券取引所第一部	95.15
ジャスダック証券取引所	1.05
その他の市場	0.71
東京証券取引所第二部	0.68
現金等	2.42

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

世界株式

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アクサ IM・グローバル(日本含む)株式ファンド(為替ヘッジつき)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の証券取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。実質的な外貨建組入資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

19 億円

■ 設定日

2015年9月30日

■ ベンチマーク

MSCIワールド・インデックス

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

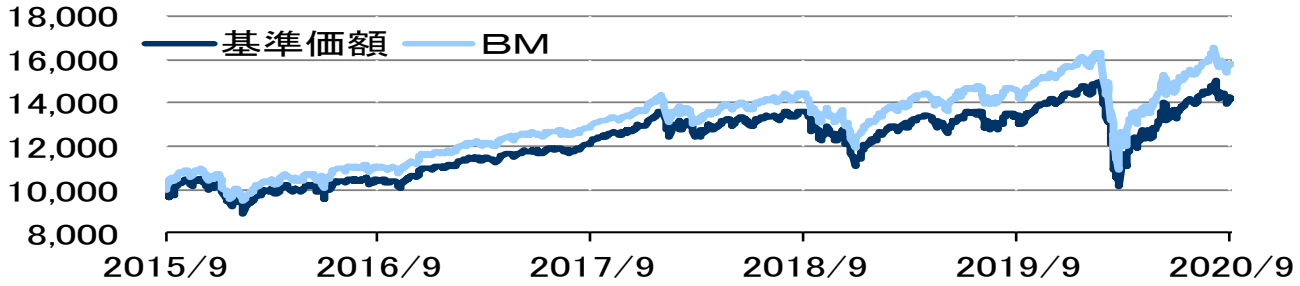
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 3.79	6.09	22.99	6.33	16.79	42.22
BM	△ 2.88	6.72	26.42	7.98	21.88	57.72
差異	△ 0.91	△ 0.63	△ 3.44	△ 1.64	△ 5.09	△ 15.50

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 652

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	4.26
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.44
3	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	3.11
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.82
5	FACEBOOK INC.	アメリカ	メディア・娯楽	1.44
6	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	0.81
7	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.78
8	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.77
9	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.72
10	ORACLE CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.72

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	63.34
2	日本	7.16
3	カナダ	3.56
4	イギリス	3.46
5	ドイツ	2.99

■ 株式組入上位5業種(%)

1	ソフトウェア・サービス	12.44
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	8.69
3	資本財	7.87
4	テクノロジー・ハードウェア	6.85
5	小売	6.46

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

世界債券

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アライアンス・バーンスタイン－グローバル・ボンドII・ポートフォリオ（クラスS1受益証券）

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

■ 投資信託の特徴

主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。原則として、投資信託の総資産の70%以上を米ドル建ての証券または米ドルをヘッジする証券に投資します。
*当投資信託は、米ドル建ルクセンブルグ籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

1,630 万米ドル

■ 設定日

1996年11月20日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合インデックス

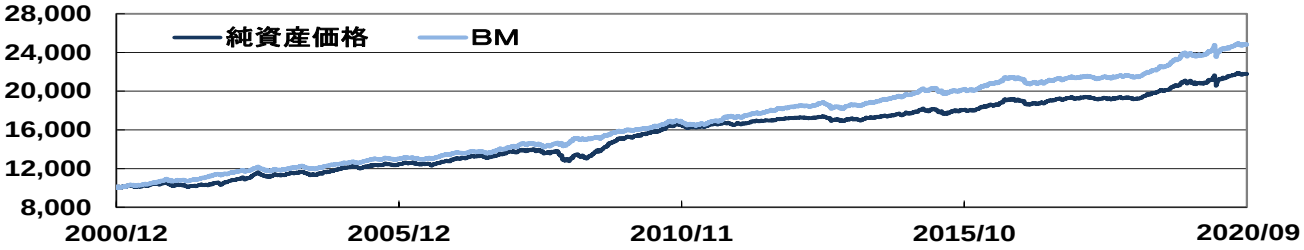
■純資産価格・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
純資産価格	0.33	0.68	2.94	3.90	13.10	186.17
BM	0.37	0.73	3.16	4.14	16.17	232.08
差異	△ 0.03	△ 0.05	△ 0.22	△ 0.23	△ 3.07	△ 45.91

※純資産価格の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ・エル・ピーに帰属します。

■ 純資産価格の推移

※2000年12月21日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄	国名	Moody's	S&P	%
1	ファニーメイ(10/01/50)	アメリカ	Aaa	AA+	8.10
2	アメリカ国債(11/15/21)	アメリカ	Aaa	AA+	6.69
3	アメリカ国債(02/15/23)	アメリカ	Aaa	AA+	4.98
4	イタリア国債(03/01/24)	イタリア	Baa3	BBB	4.53
5	イタリア国債(11/01/22)	イタリア	Baa3	BBB	3.82
6	アメリカ国債(08/15/22)	アメリカ	Aaa	AA+	3.47

■ 格付別構成比率(%)

AAA	45.00
AA	10.47
A	23.60
BBB	19.82
BB以下（無格付含）	1.11

■ 債券種別構成比率(%)

国債	36.07
投資適格社債	31.05
モーゲージ・パス・スルー証券	17.68
カバードボンド	7.16
モーゲージ担保証券	2.93
地方債（州政府）	2.17
準ソブリン債	1.86
その他	4.89
現金等	△ 3.81

■ ファンド情報

平均格付	AA-
平均クーポン	3.75%
平均利回り	0.92%

■ 債券組入上位5カ国/地域(%)

1	アメリカ	53.35
2	イタリア	9.27
3	カナダ	5.84
4	フランス	5.18
5	イギリス	4.82

※「債券組入上位銘柄」「債券組入上位5カ国/地域」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※格付は、ムーディーズ（Moody's）社またはスタンダード・アンド・プアーズ（S&P）社のうち、いずれか高いほうを採用しています。
※現金等は格付「AAA」に含まれています。
※「債券種別構成比率」の「その他」には国債先物取引等を含む場合があります。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

マネープール

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

■ 純資産総額

11 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの

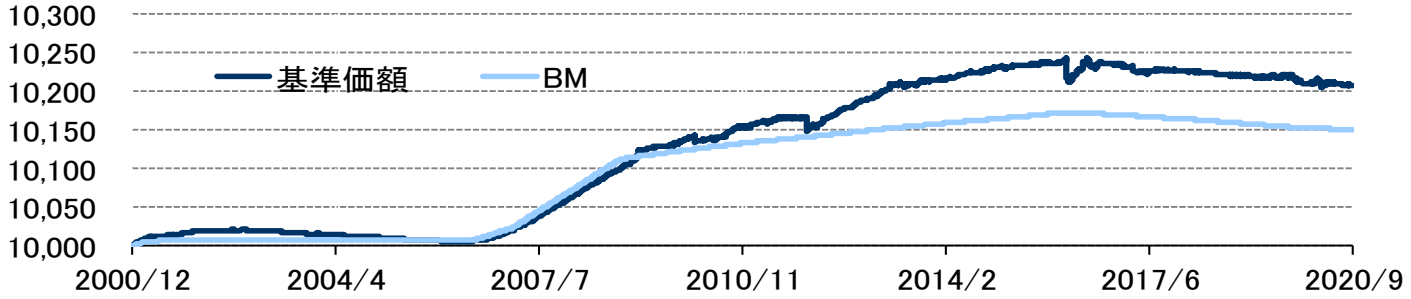
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△0.01	△0.03	0.02	△0.14	△0.21	2.07
BM	△0.00	△0.01	△0.02	△0.04	△0.15	1.50
差異	△0.01	△0.02	0.04	△0.10	△0.05	0.57

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 資産構成

	修正デュレーション	%
公社債	0.84年	87.39
国債	1.54年	9.48
地方債	0.41年	22.41
特殊債・財投債	1.02年	24.00
金融債	0.00年	0.00
社債等	0.79年	31.50
その他	0.00年	0.00
短期資産等	0.54年	12.61
CD		0.00
CP		0.00
T-Bill		10.49
コールローン		0.00
その他		2.12
合計	0.80年	100.00

■ 格付別構成比率

公社債		短期資産等	
格付区分	%	格付区分	%
AAA	0.00	P-1	0.00
AA	0.00	P-2	0.00
A	100.00	P-3	0.00
BBB	0.00	無格付	0.00
BB以下(無格付含)	0.00		

※比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。
※「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

格付基準：※海外格付機関の格付を優先します。
※コールローンは格付別構成比率には含めていません。
（公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。）
※海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。
※T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。
※T-Billに分類された1年未満の国債については公社債の格付別構成比率に含めています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

当保険商品のリスク・諸費用①

投資リスクについて

●この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。
●特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動や為替変動等に伴う投資リスクがあります。
●特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。
●特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

諸費用について

ご契約者などにご負担いただくこの保険の諸費用は、次のとおりです。

＜年金支払開始日前＞

●特別勘定のユニットプライス（単位価格）を計算する前にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
契約初期費用（増額費用）	特別勘定繰入前	保険料の**2．0%**	保険料から契約初期費用として2．0%が控除された後の金額が積立金として特別勘定で運用されます。（増額費用も同じ）
保険契約管理費（積立金比例額）	毎日	特別勘定の積立金総額に対して**年率1．2%***	当社の経費に充当されます。（基本保険金額を死亡時に最低保証するための費用および災害死亡保険金のための費用を含みます。）

* 毎日その日の始めの特別勘定の積立金総額に年率1．2%の365分の1を乗じた金額を毎日その日の終わりの特別勘定の積立金総額から控除します。

●ご契約の内容と取引の内容による費用

特別勘定のユニットプライス（単位価格）を計算した後にご負担いただく費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
保険契約管理費（件数比例額）	月単位の契約応当日	毎月　**100円**	契約1件あたり毎月の契約応当日の前日の積立金の合計額から控除します。
積立金移転費用	移転時	<書面による移転申込みの場合> 1回目**1,500円** 2回目以降は1回につき**2,300円**(*1)	毎回の移転について積立金から控除します。
		<インターネットによる移転申込みの場合> 月1回の積立金の移転は**無料** 2回目からは1回につき**800円**(*1)	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。
貸付利息	月単位の契約応当日および貸付金の返済時	貸付金額の年利**1．2%**	ご契約者に対する貸付制度を利用されたとき、月単位の契約応当日および貸付金の返済時に、積立金から徴収します。
解約控除費用	解約時	積立金額の**8．0%～0．8%**	解約日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数（1年未満切り上げ）に応じて、積立金額に対して解約控除率（8%から0．8%）を乗じた金額を積立金額から控除します。
	減額時	減額に相当する積立金額の**8．0%～0．8%**	減額日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数（1年未満切り上げ）に応じて、減額に相当する積立金額に対して解約控除率（8%から0．8%）を乗じた金額を減額に相当する積立金額から控除します。

(*1) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行なった回数

※ ご契約者に対する貸付制度は、ご契約が成立後、当社の定める範囲内で何回でも貸付を受けることができます。

※ 将来、上記の内容が変更になることがあります。

当保険商品のリスク・諸費用②

●その他間接的にご契約者にご負担いただく運用関係の費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用		備考
運用関係費	毎日	ライフ・ソリューション30	年率0．99000%程度(税抜0．9000%程度)	特別勘定が利用する投資信託の純資産額に対して控除いたします。
		ライフ・ソリューション50	年率1．10000%程度(税抜1．0000%程度)	
		ライフ・ソリューション70	年率1．21000%程度(税抜1．1000%程度)	
		日本株式	年率0．88000%程度(税抜0．8000%程度)	
		世界株式	年率0．55000%程度(税抜0．5000%程度)	
		世界債券	年率0．46000%程度 *1	
		マネープール	年率0．03575%～年率0．50600%程度 (税抜0．0325%～0．4600%程度) *2	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。
信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。
これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

*1 世界債券のみ、ルクセンブルグ籍の投資信託を使用しているため、管理報酬等を記載しております。管理報酬等には、予め定率として決められている管理報酬および管理会社報酬が含まれます。その他、お客様にご負担いただく手数料には、保管報酬、管理事務代行報酬、名義書換代行報酬、ルクセンブルグ大公国の法令に基づく税金等、有価証券の売買手数料、保有する有価証券の譲渡・償還益および配当やクーポンに対する源泉徴収税等の諸費用がかかることがありますが、運用資産額の取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

*2 マネープールの運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

＜年金支払開始日以後＞

●年金支払開始日以後にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の契約応当日	支払年金額の1．0%	年金支払開始日以後、年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。